

完 成 檢 查

■ 検査員の確認項目

書面検査

(施工管理・出来形管理・品質管理等)

- ・ 工事目的物が契約図書に定められた出来形や品質が確保できているかを確認

- ・ 施工計画書の記載内容の確認
- ・ 設計図書の3次元化に係る確認
- ・ 工事基準点等の測量結果等の確認
- ・ 3次元設計データチェックシートの確認
- ・ 使用した測量機器の精度確認試験結果報告書の確認
- ・ 出来形管理図表(出来形帳表)の確認

実地検査

(出来形確認・出来ばえ)

- ・ 現地に出向き実測値を計測して規格値を満足するかを確認
- ・ 出来映えはどうかを確認

出来形検査検査員の実施項目

- 検査職員は、施工管理データが搭載された出来形管理用TS等を用いて、現地で自らが指定した箇所（1工事につき1断面）の出来形計測を行い、3次元設計データの設計面と実測値との標高差が規格値内であるかを検査する。（ただし、出来形帳票作成ソフトウェアの機能要求仕様書が配出され、計測データの改ざん防止や信憑性の確認可能なソフトウェアが現場導入されるまでの期間とする）
- なお、新基準を適用できない場合は、従来の代表断面における幅、法長、基準高などの設計値と実測値の比較による検査を行ってもよいこととする。ただし、検査頻度は、代表断面1断面とする。

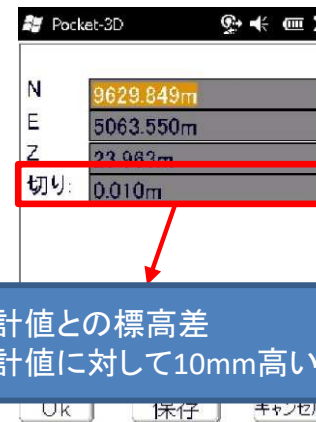
工 種	計測箇所	確認内容	検査頻度
河川土工	検査職員が指定する平場上あるいは天端上の任意の箇所	3次元設計データの設計面と実測値との標高較差または水平較差	1工事につき1断面

工 種	計測箇所	確認内容	検査頻度
道路土工	検査職員が指定する平場上あるいは天端上の任意の箇所	3次元設計データの設計面と実測値との標高較差または水平較差	1工事につき1断面

ここに注意

- ✓ 概ね同一断面上の数カ所の標高を計測する。

検査職員による実地検査のイメージ



設計値との標高差
設計値に対して10mm高い